

九州・沖縄における半導体産業の動向（設備投資と経済波及効果）

- 九州では大規模な半導体設備投資が相次いでおり、10年間の経済波及効果は約20兆円と推計

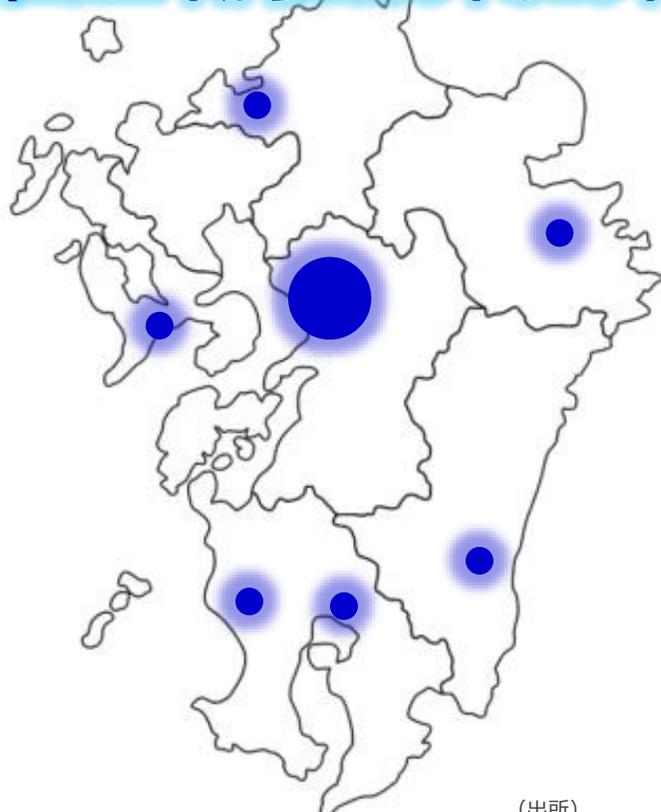
〈主な半導体設備投資計画〉



〈九州・沖縄における10年間の経済波及効果〉

総額6.1兆円

(2021年から2030年の10年間)



(出所)
九州経済産業局および
九州経済調査協会資料より作成

	設備投資	生産活動	合計
最終需要	6.1	7.6	13.7
直接効果	4.5	7.6	12.0
1次間接効果	2.0	3.9	6.0
2次間接効果	0.7	1.3	2.0
経済波及効果 (生産誘発額)	7.3	12.8	20.1

- ➔ 10年間（2021年～2030年）の投資総額は6.1兆円、生産額は7.6兆円と推計
- ➔ 関連する財・サービスの生産（1次間接効果）、消費活動（2次間接効果）を含めた**経済波及効果（生産誘発額）は20.1兆円**

- 九州・沖縄は多くの強みを持ち、今後の更なる成長が期待できる魅力的なマーケットである

アジアの玄関口 充実したインフラ

- アジア各国との距離が近く、物流や人の移動において非常に有利（アジアの物流拠点）
- 新幹線や高速道路のネットワークが充実

自動車・半導体

- 自動車関連産業を中心とした製造業が盛ん（完成車メーカー4社が立地）
- 半導体関連企業も1000社超が集積

豊かな自然資本

- 太陽光や風力等の再生可能エネルギー導入の先進地域
- 温暖な気候と豊かな自然を活かして、農業や観光業が盛ん

人材・教育

- 多くの優れた大学や研究機関が立地し、高度な知識や技術を持つ人材を輩出
- スタートアップ企業が集まる産業創出の起点

多くの強みを掛け合わせることで
更なる成長の可能性



九州地域の発展に向け
13行が一体的な活動を行います

福岡銀行 筑邦銀行 西日本シティ銀行 山口銀行
佐賀銀行 北九州銀行 大分銀行
十八親和銀行 肥後銀行 宮崎銀行
鹿児島銀行 琉球銀行 沖縄銀行



【通称】Q-BASS (キューベース)

Q(九州・沖縄) **B**anking **A**lliance **S**emiconductor **S**olutions

連携および協力の内容

■ 「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、次に掲げる事項について連携・協力する

① サプライチェーン強靱化に向けた取り組みに関すること

- 広範な金融サービス提供に向けた“共同ファイナンス”や“ファンド”の組成
- 地場半導体関連企業のサプライチェーン参入支援（合同商談会の開催など）
- 半導体関連企業の誘致
- 生産性および持続可能性向上に資するDX支援、M&A支援

② サステナビリティ推進に関すること

- SDGsの普及啓発（各種セミナーの共同開催など）
- カーボンニュートラルの推進
- 各行が所有するサステナビリティに関する商品・サービスの相互利用

③ 九州・沖縄の活性化に関すること

- 半導体を軸とするユーザー産業創出支援
- 持続可能な街づくりと地域産業活性化についての協業
- 海外とのネットワークを活用した事業展開支援に関する連携

④ 九州・沖縄での業界調査および分析に関すること

- マーケット調査（半導体業界動向や技術トレンド等）及び九州・沖縄への影響調査・分析など

連携・協力
の内容

“サステナビリティ推進”プロジェクト 目指す姿・あるべき姿



連携全体の目的 (目指す姿)

半導体関連産業集積の促進や半導体を起点とする他産業および社会インフラの強化を図り、**九州・沖縄経済の更なる成長**を目指す

サステナビリティ推進 プロジェクトの目指す姿

半導体関連産業および半導体を起点とする他産業のサステナビリティ経営支援を通じて**持続可能な九州・沖縄を実現**する

サステナビリティ推進プロジェクトの取り組み

フェーズ1

リテラシーの 向上

行員・お客様の意識醸成
に向けセミナー、勉強会を
実施。サステナビリティ経営
の第一歩をご支援

フェーズ2

サステナビリティの 実践・拡大

お客様、そして地域の持続可能性
向上に向け、各行のソリューション
提供を通じた取り組みの深化をご
支援

フェーズ3

めざす姿の 実現

金融機関、企業、自治体など様々な
ステークホルダーが連携し、持続可能な地域
の実現に向け、主体的に取り組むエコシ
ステムの構築を実現

